長野県ＰＴＡ新聞

特集 参加していますか？ 参加していませんか？

講演会 研修会 懇談会 の参加を考えてみよう！

みなさんは、ＰＴＡ活動に参加していますか？それとも参加していませんか？ＰＴＡ活動の中から講演会・研修会・懇談会について、保護者の方々に、参加する理由と参加しない理由を本音で答えてもらいました。

ズバリ、本音を聞きました!!

参加していない理由

♥参加したいけど…

- 仕事が忙しいから
- 小さい子どもが迷惑をかけるのではないかと心配だから
- 子どもを一人で留守番させるのが不安だから
- 突然、発言を求められたらイヤだから

♠だって…

- 行かなくても困らないし面倒
- 気軽に話せるママ友がいないから
- 子どもが友達や先生とうまくいってないから
- テーマや内容に興味がない

参加している理由

♣とりあえず…

- 役員だから仕方なく
- お願いされたり、誘われたりしているから
- 何があるわけではないが、なんとなく
- 修学旅行や高原学校の説明があるから

◆求めて…

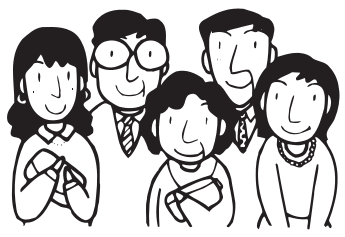
- 先生やクラスの雰囲気を知りたいから
- 懇談会や講演会のテーマが子育てや自分の知りたい内容についてだから
- 学級や学年の違うお母さんや先生方とも交流できるから

みなさんの本音を聞いてみたところ、４つのタイプに分けることができました。

♣とりあえず参加タイプ
◆積極的参加タイプ
♥参加したいけどできないタイプ
♠拒否的不参加タイプ

色々なタイプがあります。でも、参加してみたら、思いがけず良かったなどの声も多く聞かれました。

２面では参加者の良かったという声を紹介しながら、参加することで得られるものは何かを考えてみました。



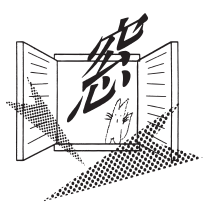
発　行
長野県ＰＴＡ連合会
長野市旭町1098信濃教育会館内
TEL 026-235-4361
発行者／青 木 十 郎
編集者／竹 前 傅 藏
ホームページ
http://www.pta-naganoken.net
E-mail
office@pta-naganoken.net

特集　参加していますか？参加していませんか？……2
県教委との教育懇談会……3
研究委嘱ＰＴＡ実践報告……3
単Ｐ訪問……4

お詫びと訂正

長野県ＰＴＡ新聞２２４号において、間違いがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

３面　第47回日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会横浜大会の写真
誤：講演する大儀見氏
正：講演する上田勝彦氏



ＰＴＡの役員を引き受けた今年度は、様々な研修会や講演会に出席をさせていただく機会に恵まれた一年であった。ＰＴＡの研修会といっても、取り上げられるテーマは実に多種多様であるからこれがなかなか面白い。

「本流」である子育てに関するものはもちろんのこと、北朝鮮拉致被害者家族会の方の講演や、大人の心と身体をテーマに更年期障害を取り上げた研修会もあった。この歳になって、不覚にも聴きながら涙してしまった講演も一度ならず何度かあった。規模の大小や主催にかかわらず、参加させていただいたすべての会で何かしらの気づきや学びをいただいたと感じている。

ＰＴＡの目的は「会員である大人（親と教師）が学び成長する場である」と言われる。大人が成長すれば、それが何よりも「自分の子どものため・地域の子どものため」になるということである。まさに本質であると思う。

問題は与えられた学びの場をいかに多くの会員へ提供できるかである。一つできることは実際に参加してみて面白かったこと、ためになったことを自分が伝道師となって伝えることだと思う。引き継ぎシーズン真っ只中の今、そのことを胸に刻みながら次年度へしっかりバトンタッチしたい。

（Ｋ・Ｆ）

2月始めに黄色の封筒に入ったご案内を各学校に配布させていただいております。

ＰＴＡ小・中学生総合補償制度

ケガをした　通院1日目から補償
ケガをさせた　友達に大ケガをさせてしまった
病気で入院した　日帰り入院から補償※H・Gプランのみ

○24 時間いつでもどこでも補償します。
○個別加入に比べて保険料は約 43%割安です。（注）
○保険料は年間 3,000 円からのプランをご用意しております。
(注)上記の割引率(約43%)は、この制度の被保険者数と保険金のお支払い状況によっては、今後変更となる場合があります。

引受保険会社：共栄火災海上保険株式会社　○お問い合わせ：小・中学生総合補償制度担当係　電話：026（234）2180

長野県PTA連合会が
平成10年より導入している制度です。

4月1日補償開始の申込締切は3月25日です！
詳しくは学校で配布された黄色の封筒の中のパンフレットをご覧ください。

	申込締切日（消印有効）
4月1日補償開始	3月25日
5月1日補償開始	4月25日
6月1日補償開始	5月25日

認証番号 B1522820A2229-20160219

特集　参加していますか？ 参加していませんか？

参加して得られるものは…？

講演会　思い切って足を運んだら

学校で異文化理解についてのＰＴＡ講演会があり、思い切って足を運んでみました。

タンザニアは今、子どもが学校に行けない状況であることなど、知らない国の現状を聞くことができました。

子どもたちや自分が恵まれた環境で生活しているありがたさを、改めて実感する機会となりました。

研修会　新しいことに挑戦してみたら

学校で陶芸の研修会があり、迷いながらも「新しいことに挑戦してみよう」という気持ちで参加しました。最初は思うように製作が進みませんでしたが、周りの方に教えてもらいながら何とか完成することができました。製作だけではなく、日頃お話できない保護者とも交流ができ、とても有意義な時間でした。

後日、自分の作品が飾られたのを見た時、本当に参加して良かったなと思いました。

懇談会　娘のゲームで悩んでいたけど

娘が低学年の時ゲームばかりしているので、懇談会で思い切って聞いてみました。すると、先輩お母さんが「高学年になれば宿題は増えるし委員会なども多くなるから、自然にゲームをする時間が減るよ」と教えてくれました。その時は内心「本当かな」と思いましたが、高学年になる今、本当にゲームの時間が減りました。

一人で悩んでいたけど、思い切って聞いてみて良かったです。

高まる関心

講演会の講師には、様々な分野の方をお迎えしています。自分とは異なる世界で活躍されている方の話には、驚きや発見があります。

集まる情報

懇談会は、多くの保護者が参加されるので、自分が知らなかった情報がたくさん集まります。子育てに役立つヒントも得られます。

広がるつながり

研修会は、学級、学年を越えた交流になるので、お互い顔見知りになり、つながりが広がります。

新学級役員へおススメ

より多くの保護者の方々に、「ＰＴＡ活動に参加してみようかな」と思ってもらうために、こちらをおススメいたします。参考にしてみてください。

「よりよいＰＴＡ活動をめざして」

長野県ＰＴＡ連合会が、ＰＴＡ活動の手引書として発行している冊子です。学級懇談会を活発なものにするためのアイデアや工夫が紹介されています。また、過去の講師やテーマについて掲載されていますので、お役立てください。

お手元にない場合は、各学校のＰＴＡ役員にお問い合わせください。

通称「よりＰ」

「長野県ＰＴＡ新聞」

県Ｐ新聞１面では、ＰＴＡ活動に関わるタイムリーな話題を特集しています。１部手元にあるだけでも、懇談会の話題作りに役立つのではないでしょうか。

参考までに過去の特集を一覧にしました。詳しい内容は長野県ＰＴＡ連合会のホームページでもご覧になれます。

224号　子どもの命を守るために
223号　朝活～朝を活かそう～
222号　家庭学習を考える
221号　子どものクラスのお父さん・お母さん何人知っていますか？
220号　子どもと心で向き合えていますか「食」を通してあなたの家庭は？
219号　Let's Enjoy　学級懇談会!!

まとめ

もうすぐ新年度が始まります。子どもも保護者も、それぞれ進学・進級と期待に胸をはずませていることでしょう。

その反面「新しいクラスはどんなかしら」など、不安を抱えている保護者の方もいるのではないでしょうか。だからこそ、子どもが通っている学校に足を運んでみませんか。クラスや担任の先生、保護者や学校全体の雰囲気もつかめ、不安な気持ちも少しずつ消えていくことでしょう。

そして、自ら足を運んで参加した先には、新しい発見、役立つ情報、人とのつながりなど、何か得るものが必ずあるはずです。それが何かを探すのも、また学校へ行く楽しみになりますね。

「第67回全国人権・同和教育研究大会」行われる

標記大会が、11月21・22日に長野県で初めて開催された。

「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」を大会テーマに、ホワイトリングで全体会が行われた。その後、長野市を中心とした5市町村に、21会場5分科会が設けられ、参加者総数一万人が人権について熱心に協議した。

全体会の様子

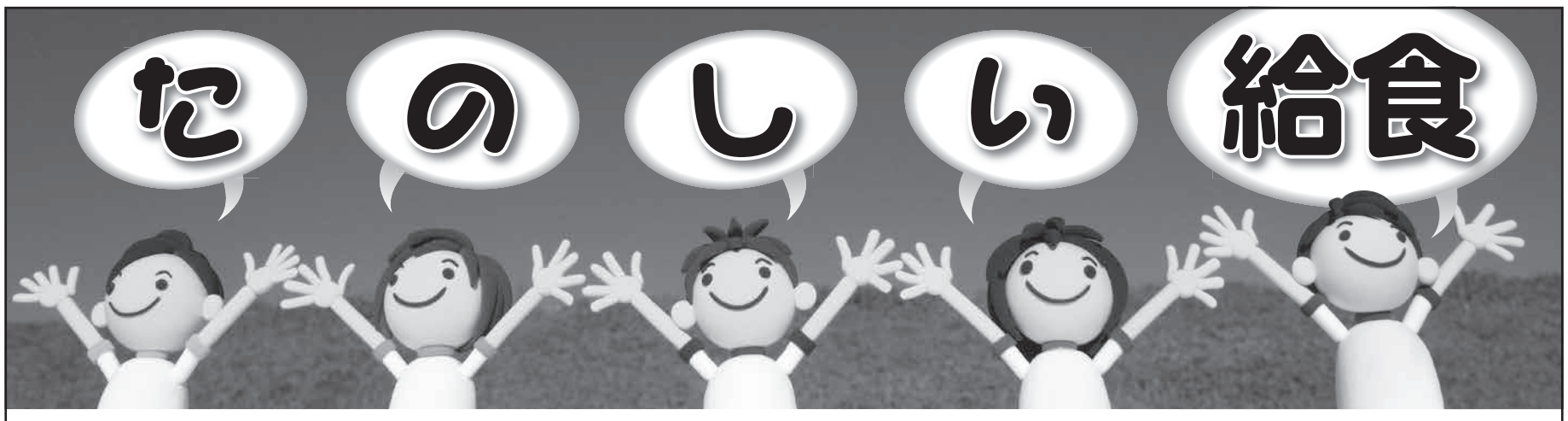
長野県ＰＴＡ連合会　委員会だより

父親母親委員会から

今年度のキーワードは「笑顔」です。長野県PTA研究大会の研究協議では、「笑顔のコーチング」をテーマに参加型の講演会を行いました。

また、各郡市の父親母親委員長を対象に行う陽だまり研修会を年３回、リーダー研修会を１回主催すると共に冊子『陽だまり』の発行を担当しています。

研修会に参加していただいた方が、自分で実際に体験したことや得たものを、各郡市、学校、学級、家庭に活かしていただければ、という思いで企画しています。



子どもたちのために――公益財団法人 長野県学校給食会
〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5
TEL 026-282-6080　FAX 026-282-6535

長野県教育委員会と長野県ＰＴＡ連合会との教育懇談会

～手を取り合って子どものために～

あいさつする伊藤教育長

11月13日、信濃教育会館にて、県教育委員会から11名、県ＰＴＡ連合会から33名が参加し、教育懇談会が開催された。

冒頭で、県ＰＴＡ連合会の青木十郎会長は「色々な課題が山積しているが、この機会を通じて日頃感じている疑問などを話し、保護者も勉強できれば」とあいさつした。続いて伊藤学司長野県教育委員会教育長が「この懇談会は、県の施策をご理解いただける場であり、保護者のお考えを学べる大変ありがたい機会である。今後につながる意見交換ができれば」と話された。

２つのテーマについての懇談内容を掲載する。

―信州型コミュニティスクールにおけるＰＴＡの関わり方をご教示ください。

県教委　ＰＴＡの皆様には学校支援ボランティアに参加するなどの協力をお願いしたい。子どもたちのために、学校、保護者、地域が一緒に進めていくことが大事だ。各校のＰＴＡ正副会長には、学校と保護者や地域をつなぐ窓口となってほしい。学校がどんな支援を必要としているのか、ＰＴＡや地域の方はどんな支援ができるのか、双方向の上手なつながりをつくっていただきたい。

―「長野県中学生期のスポーツ活動指針」の目的、成果について現状をどう把握していますか。

県教委　この指針の大きな成果は、家庭学習や生活リズムのあり方も含めて、部活動の見直しをしたことだ。生徒や保護者には様々な思いがあるので、多くの学校ではアンケートを取りながら自校にあった部活動を考えている。

以上のほかに、次の３つのテーマについて懇談が行われた。

・長野県の特別支援教育の現状と課題、今後のＰＴＡとしての関わり方について

・信州教育の信頼回復に向けた取り組みについて

・平成27年度「インターネットについてのアンケート」調査結果について

最後に伊藤教育長は講評で「社会の変化が激しい中、教育の場でもあらゆる見直しが必要だ。子どもたちのために、教育機関、保護者、地域が対話を頻繁に行い、つながりを深めていければと思う」と締めくくられた。

第24次研究委嘱ＰＴＡ実践報告

長野県ＰＴＡ連合会では、各単位ＰＴＡの積極的な活動を支援したいという願いから、昭和61年より研究委嘱事業を実施しています。今回は平成27年度2年次実践報告から、その一部を掲載します。

子どもたちのスキー活動を支援しよう

上田市立菅平学校PTA

本校は小中併設校で、ＰＴＡは菅平学校として活動している。

菅平にとって、スキーは生活の一部で学校教育と深い関わりがあり、スキーを「校技」としている。

しかし、大会への出場などに多額の費用がかかるため、ＰＴＡとして何ができるかを考えた。

研究内容

スキー活動支援のための資金調達方法

「菅平カントリーフェスティバル」「ＪＡ祭」に合わせて、年２回のＰＴＡバザーや、アルミ缶回収を行った。今年度のバザーでは多くのメディアにも宣伝を依頼し、例年の売上げを大きく上回った。

ＰＴＡ所有車の維持・活用方法

スキー大会等の移動時に選手全員が乗れる大型車両をＰＴＡが所有している。車輌の維持費は受益者負担としていたが、児童、生徒の減少に伴い、保護者の経済的負担について検討を重ねてきた。

その結果、バザーの売上げを維持費に回し、本校の児童、生徒の乗車に関しては負担を課さないことにした。

成果と課題

今年度のスキー大会参加者は例年を上回った。バザーの集客が期待できる販売品の回収方法や、所有車の運用で納得のいくルールを作り、今後も子どもたちのスキー活動を支援していきたい。

メディアとの向き合い方・親子のコミュニケーション

松本市立山辺小学校PTA

テレビ、ゲーム機、パソコン、携帯電話などのメディアの使用は便利になる一方、子どもが犯罪に巻き込まれるなど、負の影響が指摘されている。

各家庭でメディアに関するルールを話し合い、親子のコミュニケーションを深める取り組みを行った。

研究内容

アンケートの実施

学級懇談会で活用するために、子どもの携帯電話やゲーム機の有無と利用時間、テレビの視聴時間のアンケートを保護者に実施。子どもがメディアを利用する上での心配も記入してもらった。

子どもとメディア講演会

講師に猪股富美子氏を招き、子どもの発達とメディアの影響、家庭でできるメディアリテラシーを学んだ。情報化社会において、子どもを守り育てるために、情報を正しく選択する力をつけることは、大人の責任である。

ノーメディアデーの呼びかけ

取り組みの内容は各家庭で決め、メディアの使用について親子で話し合うことを重視。感想を電子掲示板で交流した。

成果と課題

家族のコミュニケーションを深める機会ができた。子どもの現状、危険性があまり知られていない。今後も継続して取り組みたい。

夢創出プログラム

辰野町立辰野中学校PTA

県の「家庭学習モデル創出事業」のモデル校として指定を受けた。これを機に『応援されることで学習意欲を高めよう』というコンセプトで、学習向上に取り組む生徒を増やしたいと考えた。

研究内容

「貫練（かんれん）」へのサポート

貫練は、宿題→採点→復習→採点と繰り返し、500人以上の全生徒が満点を取るまで続ける独自の家庭学習プログラム。採点は親や地域ボランティアも協力し、毎日の貫練を充実させる。

未来新聞作りの支援

全生徒が未来新聞作りに取り組んだ。１年目は自分の将来の夢が実現したことを描いた「夢実現新聞」、２年目は辰野町の10年後の未来を描く「辰野みらい新聞」の作成を行った。夢を描くことにより家庭学習への意欲が高まることを願い、ＰＴＡ役員やボランティアが生徒の質問に答え、新聞作りを支援した。

成果と課題

貫練の採点には、保護者や地域ボランティアが関わりを持つようになったが、一部の方々への負担が大きかった。そこで「貫練参観」を設け、保護者が採点体験をした結果、昨年の５倍となる方々がサポートに加わった。

今後は、ボランティアの維持と活動の継続性が課題である。

小中一貫校におけるＰＴＡ活動のあり方

信濃町立信濃小中学校PTA

小中一貫校となって４年目、従前の活動のままで良いか検証した。信濃町全域が対象となったことで、学校と保護者、保護者間の関係が希薄となっている面もあり、より良い活動に向けて考えた。

研究内容

アンケート調査の実施

全ＰＴＡを対象に「ＰＴＡ活動について」、「組織体制について」、「地域との関わりについて」、「自由記載」の項目で、会員の意識調査を行った。

ワークショップの開催

９年生を対象に『地域活動を考える』をテーマにワークショップを行った。

「郷土の歴史・文化・工芸・農業などを学び、伝えたい」、「町が行う大きな運動会やイベントを一緒に盛り上げたい」などの意見が出された。

子どもたちは、旧小学校単位ではなく「信濃町」という単位で物事を考えていることが強く感じられた。

成果と課題

一貫校となったことを機に、親が学校とさらに連携して活動を行い、親同士が絆を深めていくことが必要であると分かった。

今後は、特に子どもが安全に過ごせる環境づくりなどに早急に対応していきたい。

北から南から

単位PTA訪問 No.85

八ヶ嶺(やつがね)に抱かれて

茅野市　東部(とうぶ)中学校

八ヶ岳の麓、茅野市南部（標高950m）に、白壁の校舎のひときわ目立つ東部中学校がある。今年度、開校30周年を迎えた。
　学校教育目標「豊かな人間性と創造性を培う教育　『開拓』『敬愛』『連帯』『感動』」のもと、雄大な自然のなかで、生徒493名が学んでいる。

伝統のPTA運動「インディアカ」

　9月の土曜参観の後に行うPTA運動は、インディアカクラス対抗戦である。インディアカは、バドミントンのシャトルを大きくしたような特殊な羽を使い、6人制バレーと同じルールで行う。学年部が中心となり、保護者から参加者を募る。特に3年のクラスは最後となるため、参加者も素早く決まる。対抗戦2日前の夜、体育館を借りてクラスごと練習を行い、当日に備える。
　初心者でも気軽に行えるニュースポーツだからこそ、担任の先生と保護者が一緒に楽しむクラス対抗戦は、PTAで長く引き継がれている。

「インディアカ」でアタック！

地域ぐるみのPTA作品展

　毎年秋に行う文化祭「八ヶ嶺(やつがね)祭」に、PTA主催の作品展がある。7月の地区懇談会では、教養部が保護者と地域の方々に作品展への出品を依頼する。地域の方の作品は部員がお宅まで受け取りにうかがう。作品の多くは、手芸、書道、絵画などで、中にはスライドショーで見られる写真もある。
　毎年、地域からの出品も多く「八ヶ嶺祭」にも地域の方が大勢足を運んでくれる。

好評の制服リサイクル

　制服リサイクルは、学年部が担当している。事前にPTAや地域に呼びかけを行い、回収日を決め、クリーニングされた制服や通学かばんを回収する。
　毎年「八ヶ嶺祭」のリサイクルコーナーには、整理券を配るほど保護者の列ができる。集まった100着ほどの制服はあっという間になくなり、大切にリユースされていく。

リユースを待つ制服

心が通う親子作業

　施設部が中心となり、3年生の親子が春と秋の年2回、環境整備作業を行う。校舎周辺の草刈りには、多くのお父さんが草刈り機を持参する。他に側溝の泥上げ、ゴミ拾いなど、土曜の朝2時間ほど汗を流す。普段なかなか話さない親子でも、時折言葉を交わしながら同じ作業に向かうと、自然と心が通い合う。
　卒業を前に、3年間の感謝の気持ちを込めて、学校の敷地を整える。

取材を終えて

　絆～広げよう未来へ～をテーマとした、開校30周年記念式典を終えた直後の訪問だった。会長さんは「記念事業は、歴代のPTA役員と現PTA会員が力を合わせて行えたことが何より良かった」と安堵の表情で語って下さった。
　開校当初から続いている活動の多さに驚かされた。また、地域の方もその伝統に熱い思いを寄せていると感じた。
　これからも八ヶ嶺に抱かれて、人と人との絆を大切にしながら未来へと歩んでいくことだろう。

家族のようなふれあいで

飯山市　岡山(おかやま)小学校

飯山市北部に位置する岡山小学校は、眼下に千曲川が流れている。「㋔思いやりのある子　㋕考える子　㋳やりぬく子　㋮学びあう子」の学校教育目標のもと、全校児童10名が元気に学んでいる。
　今年度をもって閉校、４月からは戸狩小学校と統合し、新しい生活がスタートする。

雪国ならではのPTA作業

　年2回のPTA作業は、全校7家庭が力を合わせて行う、雪国ならではの力仕事である。山間豪雪地であるため、冬になると校庭一面に、3mほどの積雪となる。雪の重みによって曲がってしまう遊具を保護するため、10月になると鉄棒や滑り台などを取り外して冬支度をする。4月、雪解けを待って、取り外した遊具やプールフェンスの取り付け作業を行う。
　少人数の保護者ではあるが、保護者と学校が一丸となってスムーズな作業が行われてきた。

遊具を取り外し冬に備える

雪像作りで冬を楽しむ

　毎年「いいやま雪まつり」に合わせて、校庭に雪像を作っている。子どもと地域の方が協力して積み上げた雪の山は、校舎2階くらいの高さになる。雪をたたいて固めたり、削ったりして形にしていく。
　一昨年は「ゾウですべるゾー」、昨年は「祝開通！E7系新幹線」を作った。スプレーで色を塗ったり、文字を入れたりして完成。実は、どちらもその滑り台になっていて、子どもたちの最高の遊び場となっている。

新幹線完成まであと少し!!

思い出に残る「音楽会」・「閉校式典」

　10月25日（日）、岡山小学校最後の音楽会と併せて、閉校式典が行われた。休日に行う公開音楽会ということもあり、歴代の校長・PTA会長・岡山小学校に関係した方・統合する戸狩小学校の保護者や子どもたちなど大勢参加した。
　毎年PTAからは母親コーラスと、おやじバンドを披露していたが、今年度は最後のコーラスとして、先生2名によるギターの演奏に合わせて父親母親が一緒に「世界に一つだけの花」を歌った。そして、子どもへ一輪の花をプレゼントした。
　引き続いて記念式典では、岡山小学校の40年間のあゆみを振り返ると共に、PTA作業で伐採した桜の枝を輪切りにして作った壁掛けやその他の記念品が子どもたちへ渡された。
　除幕式では、正面玄関向かいの桜の木の下に、稲穂がデザインされた校章の記念碑が披露された。
　その後の「岡山小学校を語る会」では、引き続き大勢の方が膝を交えて思い出を語り合った。
　実行委員長のPTA会長を中心に保護者、学校、地域みんなで作り上げた閉校への行事は、参加者が岡山小学校での思い出を語り合う素敵なひとときとなった。

取材を終えて

　岡山小学校のPTAは、子どもたちの成長をいつも家族のように見守っている。少人数だからこそ地域の方々と協力して、地域全体で子どもたちを支えてきた様子が感じられた。
　廊下に掛けられているどの写真も、自然豊かな飯山の地でのびのびと育った子どもたちが、満面の笑みを浮かべていた。戸狩小学校での新しい生活が始まる春の雪解けが、さらに待ち遠しく感じられることだろう。

編集後記

　セレンディピティという言葉がある。「予期せぬ幸運なできごと」というほどの意味だ。
　本屋でお目当ての本を探すが見つからない。諦めかけたその時、思いがけず目を惹く本がある。代わりにその本を購入して帰る。そんなふうにして出会う良書もある。
　誘われて、億劫な気持ちを押して研修会に参加した。偶然にも、雑誌の中で何度もお会いしていた講師の先生が、隣の席に着かれた。恐る恐る名刺をお渡しし、以来6年続けて同好会のご指導をいただいている。
　ダイナマイトを発明したノーベル、ペニシリンを発見したフレミング、木から落ちるりんごを見て重力を発見したニュートン、みなセレンディピティから偉業を成し得た人たちだ。
　犬も歩けば棒に当たる。棒は、災難という意味もあるが、正反対のセレンディピティという解釈もある。歩かなければ棒には当たらない。
　まずは、PTA講演会、研修会、懇談会に参加してみよう。
（D・T）

◇広報委員
◎石坂　修一（更　埴）
○小林　勇也（上高井）
梅本　龍和（木　曽）
嶽野　弥生（飯　伊）
北澤　猛史（大　北）
水上　　勇（上　水）
竹前　傳藏（上高井）
伊東　貴世（長野市）

◇編集委員
◎竹前　傳藏（旭ヶ丘小長）
○金子　郁子（川中島小頭）
赤塩　　香（裾花中Ｐ）
関　富志子（裾花小Ｐ）
坂原　明子（櫻ヶ岡中Ｐ）
町田　和子（櫻ヶ岡中Ｐ）
宮本　信子（城東小Ｐ）
羽田　亜矢（柳原小Ｐ）
宮島智恵美（裾花中Ｐ）
西澤　洋子（裾花小Ｐ）

小学3～6年生のみなさまへ
ちゅうでん小学生サイエンスクラブ
エレキッズ
中部電力

みんな待ってるよ！
会員募集！
見て、ふれて、体験して！
科学やエネルギーが楽しくなるよ！

お問い合わせ先
ちゅうでん小学生サイエンスクラブ「エレキッズ」事務局
☎052-201-7455（土・日・祝日を除く 9:30～17:30）

お申し込み方法
携帯電話の場合　http://cep.jp/kids/
ホームページの場合　http://www.chuden.co.jp/kids/